

**食品のリスクを考えるワークショップ（徳島県）－食品と放射性物質について－
参加者アンケート集計結果**

参加者数	:	31
アンケート回収数	:	31

あなたご自身のことについてお聞かせください。

①性別

回答内容	件数	割合
男性	9	29.0%
女性	20	64.5%
無回答	2	6.5%
計	31	100.0%

②年齢

回答内容	件数	割合
20歳未満	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
30歳代	3	9.7%
40歳代	4	12.9%
50歳代	7	22.6%
60歳代	8	25.8%
70歳代以上	8	25.8%
無回答	1	3.2%
計	31	100.0%

③職業（立場）

回答内容	件数	割合
①消費者団体	9	29.0%
②主婦・学生・無職	5	16.1%
③生産者	0	0.0%
④食品関連事業者・団体	1	3.2%
⑤マスコミ	0	0.0%
⑥行政（自治体職員、独法職員）	6	19.4%
⑦食品関連研究・教育機関	3	9.7%
⑧その他	5	16.1%
無回答	2	6.5%
計	31	100.0%

その他（）

コープ商品、検討委員
徳島県、徳島市消費者協会
ろう人
司法書士補助者

④意見交換会情報入手手段

回答内容	件数	割合
①食品安全委員会ＨＰ	0	0.0%
②自治体からのご案内資料	16	51.6%
③食品安全委員会メルマガ	0	0.0%
④関係者からのご案内資料	10	32.3%
⑤知人からの紹介	1	3.2%
⑥その他	4	12.9%
無回答	0	0.0%
計	31	100.0%

その他（）

情報とくしま
けんちょうで
国民生活センターメールマガジン
スタチメール（徳島県）

⑤「100%安全な食品はないこと」について、どう思われますか？

回答内容	件数	割合
①強くそう思う	14	45.2%
②ややそう思う	14	45.2%
③あまりそう思わない	1	3.2%
④全くそう思わない	0	0.0%
⑤わからない	1	3.2%
無回答	1	3.2%
計	31	100.0%

問2. 本日のワークショップについて

① ワークショップに参加した目的

回答内容	件数	割合
①放射性物質について理解を深めたかったから	13	43.3%
②放射性物質について自分の意見や考えを話したかったから	1	3.3%
③他の参加者の意見や考えを聞きたかったから	8	26.7%
④これまでにない取組で面白そうだったから	0	0.0%
⑤少人数で相互対話に関心があったから	0	0.0%
⑥国、自治体の行うリスクコミュニケーションについて知りたかったから	5	16.7%
⑦その他	3	10.0%
無回答		0.0%
計	30	100.0%

⑦その他 ()

基本的な放射性に学ぶ、他人の意見もきけると思ったから。
教育機関なので、保護者からの質問等があれば、それに対応できるための一つの例になるかなと思ったから。

② どの程度満足できるものでしたか？

回答内容	件数	割合
①十分満足	1	3.2%
②ほぼ満足	11	35.5%
③あまり満足できなかった	10	32.3%
④まったく満足できなかった	4	12.9%
⑤どちらでもない	1	3.2%
無回答	4	12.9%
計	31	100.0%

③ ③、④満足できなかった と答えた方に伺います。

満足できなかった点（具体的に）

学習会の資料を前もって配布されていればもっと理解できていたと反省点です。もっと深いワークショップ参加が出来たのではと思います。

専門化集団と違い、いろんな人が集まる所では最低限、基本的な事からはいるのが当然と思うが、それができていない。時間がなければA4・1枚ぐらいにもっとわかりやすく基礎用語を書き、先に（はじまる前に）読んでもらう事

むずかしかった。

放射性物質についての基礎的な説明が不十分であり、また食品に対する事もよくわからない。

勉強不足で話についていけない。

資料が専門的でわかりにくい。もっと身近に感じれるような表現はないでしょうか？

自然界の放射線の影響の事ばかりで、何だか、言い訳を聞いているだけに聞こえた。

ワークショップのテーマは、テーブルごとに自由にしておしかった。

正確な情報は、確立されていないことがわかったからです。しかし、参加して今回が基本的な情報提供の機会になったことは、よかったと思います。学校なので、小中学生には難しい内容です。現在は、学校内で不安や質問などはありませんが、今回参加したことで、情報入手の方法がわかったことは良かったと思います。

具体的に知りたかった。専門用語が判りにくい。誰でもわかる説明をして欲しかった。

よくわかりました。

問3. 本日のワークショップについてどう思われたか？

回答内容	件数	割合
①評価する	5	16.1%
②まあまあ評価する	16	51.6%
③あまり評価しない	7	22.6%
④まったく評価しない	0	0.0%
無回答	3	9.7%
計	31	100.0%

理由

同じ事を述べることになりましたが、主催者側が今回のワークショップを開催されたのも手さぐりだったと思われた。本県ひとつまみの参加で満足することで終るのは誠に残念にならない様、今後の開催で国民、県民、一市民に食の安心・安全に結びつけて下さい。
もう少し情報を細かく知りたかった。
さまざまな疑問を出したが、解決となる回答は、わずかであり、解決することはできなかった。HP上でもグリーンの部分の回答をお願いしたい。
結論はわかりやすい説明、正しい情報の提供しかないから。
2, 3の間くらい。講演が短かすぎる。グループワークの時間は短くてよい。
色々な立場の方と対話することができた。
一部、制御不能な意見に引っぱられる事が毎回のようになり、真に知りたい情報に時間が足りないことがある。
我々自身が知識レベルが低く、不十分な知識でのワークショップは余り役立たなかった。本日の結果としては、残念ながら全然理解もできなかったし、有意義とは思えなかった。
他県から参加して。できれば全国でこのようなWGを行って欲しい。
グループワークをすることで、自分の考えていることが具体化出来る。人の意見を聞くことで、気づかされることがある。
食品と放射性物質についてとても勉強になりました。しかし、やはり専門的な基礎知識が不足しているので難しかった。シーベルト、ベクレルとグラムの関係が分かりにくかった。
色々な意見が聞ける。
少人数すぎる。これなら、アンケートの情報公開が良いと思う。
いろいろな分野の方々からの意見を聞いて、考え方の違いというものを実感しました。中立的な立場から、物を考えなければいけない立場なので、とても勉強になりました。
いろんな人の意見を聞くことができるのは、良い機会であると思う。今回はテーマが難しかったように思う。
一方的にお話を聞くという形式ではなく参加者がお互いに考えていることを交流しながら、認識を深めることが出来て、内容のあるものになったと思います。
情報提供が少ないのだとわかりました。各市町村がもう少し説明できるよう指導すべき。

問4. 意見交換会の進め方について、意見交換会の全体の印象を通じて感じた印象は？

i. 意見交換会の開催手続きは適切であった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	6	19.4%
②そう思う	17	54.8%
③あまりそう思わない	5	16.1%
④そう思わない	0	0.0%
無回答	3	9.7%
計	31	100.0%

ii. 情報提供は理解できた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	3	9.7%
②そう思う	11	35.5%
③あまりそう思わない	10	32.3%
④そう思わない	5	16.1%
無回答	2	6.5%
計	31	100.0%

iii. 意見交換の進め方は良かった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	4	12.9%
②そう思う	15	48.4%
③あまりそう思わない	6	19.4%
④そう思わない	1	3.2%
無回答	5	16.1%
計	31	100.0%

iv. 意見交換時に回答者は質問にきちんと回答していた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	6	19.4%
②そう思う	11	35.5%
③あまりそう思わない	9	29.0%
④そう思わない	0	0.0%
無回答	5	16.1%
計	31	100.0%

v. 放射性物質について参加する前に比べ理解が深まった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	1	3.2%
②そう思う	19	61.3%
③あまりそう思わない	7	22.6%
④そう思わない	3	9.7%
無回答	1	3.2%
計	31	100.0%

vi. 自分の食生活に今回のワークショップで知った内容はいかせる

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	1	3.2%
②そう思う	17	54.8%
③あまりそう思わない	9	29.0%
④そう思わない	2	6.5%
無回答	2	6.5%
計	31	100.0%

vii. グループワークの中で、他の参加者の意見を聞き、話をする事は良かった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	12	38.7%
②そう思う	15	48.4%
③あまりそう思わない	2	6.5%
④そう思わない	1	3.2%
無回答	1	3.2%
計	31	100.0%

問5. 本日の意見交換会について、ご意見や感想をお書き下さい

「食品のリスクを考える・徳島県・食品と放射性物質について」本日のワークショップを踏えて徳島県民全体に向けての学習の場を呼び掛けて欲しいです。
新しい情報を知ること出来ましたが、終りのない現実的問題です。私達に正しい情報提供をお願いします。
座る場所によるかも知れませんがマイクが割れて話が聞き取りにくかった。説明の時です。（女、男2人の方）Aグループ どのグループも同じ事を言っていた。
企画していただきありがとうございました。分野別により詳細なセミナーを開催してほしいと思う。疑問を1つ1つ解決していきたいと思う。
グループワークは良いが、時間配分がよくない。
県の方が大勢おられました。見ているだけでなくいっしょに参加されたらどうでしょうか。県民の目線でいろんな意見を聞くことができるのではないのでしょうか。皆様もひとりひとり生活者だと思います。
今度は違ったテーマでワークショップに参加してみたい。
必ずしも正しくない情報はマスコミ等より、インパクトのあるわかりやすい言葉で、毎日のように聞かされますが、正しい情報は、自から努力しないと入手できません。このギャップをなんとかしなければいつまでも正しい情報が一般に届くのはむづかしいと感じます。
司会者の声が少し早口で聞き取るのがむづかしかった。
浅見専門官の話については、本日の情報提供について、1～4共に殆んど理解出来ませんでした。グループ発表でも同様な話があったと思います。開催した事については、大いに評価するが、その中身については、評価できない。内容を考えて、再度実施願いたい。
又機会があれば参加したい。
竹炭の販売業者らしき人物がまぎれこんでいたことに驚きました。専門家が発する情報が一般的な消費者の方々にはこんなにも難しいと感じられていることも（これだけ連日の報道があるのに）。3月11日から7ヶ月以上過ぎ、未だ、というよりむしろ「放射能」について危険をあまり安心をネタに商売する人たちがたくさんいることが残念です。
今日のこの会のように県のみでなく各市町村でも開催し多くの県民に知識を広める機会を作って欲しい。
福島原発以前に、原子力発電所を作る前から、食品や人体の影響を公開すべきだった。今後は、どう対応していけば、健康で安全な生活が送れるか具体的に知りたい。3時半からの意見交換会は良かった。
情報を誰でもがわかる説明をしてくれないと、むずかしいままで終わってしまう。具体的に前向きに考えていけるような具体案が欲しい。
自然界にある通常出ている放射線と原子力発電所の事故やその他特別な状況で出来た放射性物質とは、まったく違うものであると思いますので、一般的な食品中の放射性物質の情報だけでなく、放射性物質そのものの知識が必要だと思います。いろんなところから得た一面的知識でヒステリックな反応になるということもあると思いますので、気をつける必要があると思います。
県民全体に安心できる情報は出来ないが文章にすればわかりにくいように思うのでチャンスを作りお話しすると良い。特に小さい子供達に安心・信頼を！